平和教育の取組事例報告書

報告年月日　　令和４年３月30日
都市名・国　　新潟県　上越市

取組の名称	戦争体験者等によるオンライン講話
実施主体 （該当項目に✔）	□学校　☑自治体　□ＮＧＯ　□複合（　　）
テーマ・目的	戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、次代を担う生徒に平和について考える機会を提供する。
対象者 （年齢･学年、人数等）	市内中学校の生徒
実施場所	市内中学校
実施期間	令和３年11月30日、12月３日、12月７日

取組の概要（授業、イベントはプログラムの次第を、その他（例：コンテスト等）はそのプロセスを、具体的に記入してください。）

・令和３年度広島平和記念式典について新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業を中止とした。そのため、非核平和への取組を途絶えさせないよう被爆体験者をはじめとした戦争体験者等によるオンライン講話を代替事業として実施。
・市内の全中学校を対象に希望調査を行い、希望校に対して当該事業を実施した。
・11月30日　沖縄県平和祈念資料館友の会
・12月３日　日本原水爆被害者団体協議会
・12月７日　広島平和記念資料館

参加者の反応

・教科書の情報だけでは知ることのできなかった原爆の恐ろしさや被爆体験者の苦悩を知ることができた。
・今を生きる私たちが戦争の悲惨さを後世に引き継いでいくことで、戦争や原爆で犠牲になられた方々の想いも受け継いでいけると思う。

成果

戦争体験者の生の声を聞くことで、普段の授業では学ぶことのできない戦争の悲惨さを次代を担う子どもに伝えることができた。

課題

代替事業として年度途中にアナウンスしたため、授業時間の確保が難しく、講話を希望した学校が少なかった。

取組で使用した素材について（図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。）

パワーポイント（日本被団協作成）

上記素材の共有の可否（取組で使用した素材を、平和首長会議の WEB サイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。）

□掲載可能（素材を添付してください）　☑掲載不可　□不明

※　画像等の資料がある場合はメールに添付して提出してください。